

ワーキンググループ（WG）の開催・検討の状況報告

（第1回検討会における説明内容）

課題認識と目標（もっとも目指すべきこと）

⇒ 人口減少・少子高齢化が進む洛西ニュータウンにおいて、

- ① 多様な世代の生活支援に取り組むとともに、
- ② 特に若年ファミリー層の呼び込み・定住促進を実現する具体的な取組が必要。

手法

- ① まちの魅力を向上する取組を様々な方面で進めつつ、
 - ・ 近郊に居住されている方（特に若年ファミリー層）や観光客が洛西ニュータウンに来たくなる（滞在したくなる）ような「ツーリズム、プレイパーク」分野での取組
 - ・ 子育てをするにおいても、高齢者としての生活を送るにおいても、安心して住めるまちであり続けるための「子育て支援」「高齢者の居住支援」分野での取組
 - ・ これらを展開するために、居住されている方々の能力を発揮すべく、雇用の環境を整える「ソーシャル・ワーキング」分野での取組
 - ・ また、これらを展開するために、既存ストックである「タウンセンター・サブセンター施設の更なる活用」を図っていく取組
 - ・ 主たる目標である若年ファミリー層の転入が容易となるような「住まい」分野での取組
- ② その「魅力情報」を発信し、洛西ニュータウンのリブランディングも見据えた取組を平行して進めることが必要。

検討する体制＝ワーキンググループ（WG）

	WG	検討事項（第1回検討会開催時想定案）
①	ツーリズム、プレイパークWG（観光と公園、緑）	・ 周辺連携観光プログラム ・ タウンセンター観光拠点機能 ・ ランナーズステーション、レンタサイクル ・ プレイパーク「小畑川カフェ」 ・ 生物多様性のまち ・ 阪急駅間プロジェクトとの連携 など
②	ソーシャル・ワーキングWG（しごと）	・ 就業、起業支援 ・ 事業者とのマッチング ・ 託児付きオフィス など
③	タウンセンター・サブセンター施設検討WG（商業、施設運用）	・ タウンセンターのあり方、サブセンターの活用方法検討 ・ 市営住宅、UR住宅の活用方法検討 ・ 交通問題検討 ・ 駐車場問題検討 など
④	子育て支援WG（子ども）	・ 子育てにかかる安心安全ネットワークづくり ・ 学習支援 ・ 託児サービス ・ ナイトステイ ・ 子育てママサポート ・ 育児サポート ・ 居場所づくり ・ 子ども食堂 など
⑤	高齢者の居住支援WG（高齢者）	・ 地域包括支援のネットワークづくり ・ 介護予防、認知症予防 ・ 居場所づくり（高齢者、障がい者） ・ 見守りシステム ・ 生活の困りごと解消、悩みごと相談 ・ 買い物サポート など
⑥	住まいWG（住宅）	・ 住戸改善（子育て世代、若者世代転入促進） ・ 住戸内BF（高齢者等対応） ・ 戸建住宅地の住み継ぎ ・ 空家予防 など
⑦	情報発信・ポータルサイト・魅力向上・エリアマネジメントWG	・ 地域情報化（阪急電鉄㈱とも連携） ・ リブランディング＝新しいライフスタイル発信 ・ 大学や研究機関などとの連携・人材発掘、育成 ・ エリアマネジメント など

⇒次ページ以降、各ワーキンググループ（WG）報告

ワーキンググループ名	高齢者の居住支援WG	
コーディネーター	田尾純子	
メンバー (平成28年6月末現在)	内山裕之 沓掛地域包括支援センター 堀 英彦 境谷地域包括支援センター 永松 学 西京区社会福祉協議会 仲 佳子 洛西支所健康づくり推進室 赤木範子 洛西支所支援保護課 中島名美子 洛西支所福祉介護課 辻山尚樹 洛西支所地域力推進室	次回以降参加依頼予定メンバー 各学区・地域自治連合会 各学区・地域社協 各学区・地域民生児童委員協議会 西京医師会 西京地域介護予防推進センター 地域活動団体 UR 洛西竹の里団地シニア会 地域ボランティア委員会 ぷらざ・ふれんず 洛西福祉ネットワーク わくわく和いこい ハウス このゆびとまれ コミュニティカフェ ene ひまわり会 竹宝会 他
開催経過	第1回 平成28年6月9日（木）13:30～15:30	

課題認識	活用できる資源等
○5～10年後に後期高齢者が一気に増加する。 ○高齢者の支援ニーズが増えてサービス供給が追いついていない。 ○住宅のバリアフリー化が遅れている。 ○団体間の連携不足、自治会加入率の低下。 ○ニュータウン内はそれほど不便ではない。しかし買い物は不便。 ○人に認められることで地域への愛着や住み続けたいという意識につながる。 ○高齢者の3人に1人は地域に知り合いや友達がいないというデータがある。	・既に洛西ニュータウン内で取り組まれている要介護予防、健康づくり、居場所づくり等の活動 ・URが全国展開している地域包括ケアシステムへの参画の動き ・タウンセンターやサブセンター



議論のポイント（取り組みの方向性・内容）
○洛西らしさを活かした生きがいづくり・認知症予防・認知症の方への支援 ○居場所づくり・見守り・介護予防など、既に行われている活動の支援・推進 ○高齢者が住み続けたいと思う住環境（住まい・買い物など・ふれあい・他のWGと一緒に） →「居場所づくり」、「見守りシステム」、「生きがいづくり、引きこもり対策」

具体的なアイデア・人材・資源など
○見守り活動について、個別支援を行うなら民生委員、事業を通しての見守りなら社協等。また、自治会等地縁ネットワークによる認知症の人の見守り、事業者等との連携もあり得る。 ○生きがいづくりについて、大原野の「農」とのふれあい等が考えられる。 ○タウンセンターやサブセンターの福祉的活用（→タウンセンター・サブセンター施設検討WGへ）

今後の進め方（案）
○絞り込んだテーマに基づき担い手になり得る人材をピックアップし、次回以降のWGへ招集し、より具体的な取り組み提案につなげる。 ○具体的なメンバー・進め方は事務局で検討し、コア会議出席者で確認。

ワーキンググループ名	子育て支援WG	
コーディネーター	白水育世 深川光耀	
メンバー (平成28年6月末現在)	井尻千春 久世保育所 國吉啓太 久世保育所 仲 佳子 洛西支所健康づくり推進室 赤木範子 洛西支所支援保護課 赤井明子 洛西支所地域力推進室	次回以降参加依頼メンバー 主任児童委員 らくさいライフスタイル らくさいフリースペース 京都市ユースサービス協会 マミーズアップ ラクセーヌ キッズプラザ によっきき！ のはらくらぶ らくさいスコーレ ま〜ぶりんぐ しぶがき文庫
開催経過	第1回 平成28年6月16日(木) 13:30~15:30	

課題認識	活用できる資源等
○洛西 NT では、短時間のリフレッシュ・育児負担の軽減のための託児ニーズがある。 ○子ども食堂のような取り組みの必要性が高まっている。 ○共働き世帯がメインターゲットと考えられる。 ○既存コミュニティによらない交流ニーズがある(によっきき！など) ○生活動線となっているタウンセンターでの子育て支援のサービス提供が子育て世代にとって利便性が高い。 ○世帯構成の分析把握を行う必要がある。 ○行政サービスの情報が知られていない。	○民間の活動団体が洛西 NT では増えてきており、13くらいの子育て支援の団体がある。 ○ラクセーヌの空きスペースで体験的なイベントなどを実験的には実施できる環境にある。



議論のポイント(取り組みの方向性・内容)
○ママ達のためのネットワークや場づくり、地域内の居場所づくり ○子ども達が健やかに育つ環境や機会づくり ○子育て層などが既存の子育て支援のネットワークにつながるための情報やサービスの集約化 ○地域の資源を活かした教育環境・大学との連携なども含めた「子育て環境のブランディング」など洛西 NT の活性化・まちづくりにつながる視点

具体的なアイデア・人材・資源など
○洛西で買い物すればポイントがたまる子育てパスポート洛西版(地場産業ともリンクさせことで経済活性化にもつながる) ○洛西 NT には高齢者も多いことから、子どもとの世代を超えたつながりをつくる ○子育て支援の既存資源(活動・サービス)を利用してもらえるような情報・つながりが必要(情報・サービスの見える化)(参考：中京区ベビサポ広場) ○子ども食堂を多くの団体で少しずつ実施するような活動の広がりをつくる。

今後の進め方(案)
○何を重点的に取り組むべきか議論するために、民間で様々な活動を大々している方々で話し合う場を設ける。(7月12日(火)に実施) (話し合いテーマ) ①「ママたちのためのネットワークや場づくり」 ②「地域内の居場所」 ③「子どもたちが健やかに育つ環境や機会づくり」 次回以降：情報発信&情報集約 など ○中高生などの年代までをターゲットとするかどうか考える必要がある

ワーキンググループ名	ツーリズム、プレイパーク 情報発信・ポータルサイト・魅力向上・エリアマネジメント合同WG		
コーディネーター	ツーリズム：吉田泰基 情報発信：村下恒雄		
メンバー (平成28年6月末現在)	齋藤治喜 張本将利 辻 宣幸 新治光子 西澤 亨 山根新吾 赤井明子	なんやかんや大原野推進協議会 NPO法人らくさいライフスタイル 株式会社おもちゃあ 洛西ケーブルビジョン株式会社 京都市住宅供給公社 京都市住宅供給公社 洛西支所地域力推進室	次回以降参加依頼 予定メンバー ・検討中
開催経過	第1回 平成28年6月23日(木) 15:00~17:00		

課題認識	活用できる資源等
○荒れている竹林が多い。 ○自然を相手に遊ぶ子どもが少なくなった。 ○遊べる自然は危険な場所もあり、金網等で囲い込んでいるところもある。 ○洛西地域の観光客は市全体の0.1%と少ない。宿泊施設も少ない。 ○観光客のターゲティングが重要。 ○大原野の農産品のブランド力はまだ弱い。 ○ポータルサイトの立ち上げ当初は小さなイベント等の情報を掲載し地域の信頼を得ることが重要。	・竹林公園をはじめとする竹林や既存の公園、緑地、大原野の豊かな自然。 ・洛西NTの生物多様性(小畑川等) ・大原野の農業、農産品。 ・大原野の伝統的料理(かしわのすき焼き等)。 ・フランスとの関連(市とパリの姉妹都市、セーヌ川にちなんだラクセーヌ等)。 ・タウンセンターに資源が集約化している。 ・大原野出身のハリウッド女優(祐真キキ)。



議論のポイント(取り組みの方向性・内容)
○荒廃した竹林や既存の公園等を活かし、子どもが遊べる場をつくれないうか。また、豊かな自然や生物多様性等の活用にも着目できないか。 ○洛西・大原野の特性を活かしたインパクトのある打ち出し方ができないか。 ○大原野の「売り」等を発掘し、洛西NTと結びつけてPRしていくことが必要。 ○ポータルサイトは、地域向け生活利便情報以外にも魅力的な地域情報を発信し、居住者以外の見込み客の吸引を図る。

具体的なアイデア・人材・資源など
○竹林等を活かし若い世代が遊びに来る公園のような場が整備できないか。 ○観光ルート、散策ルートを開拓し、農業と観光を結びつけて相乗効果を狙いたい。 ○大原野の農業と観光を連携させた取組ができないか。農作業や野菜食、竹の郷温泉等も活かし「健康長寿」のような打ち出しができないか。 ○阪急高架下の洛西口～桂駅間プロジェクトと連携した動きがつけられないか。 ○フランスとの関係性の活用等、周辺地域との差別化を図った発信ができないか。 ○観光大使任命やブロガー等を集めたツアー、TVやFBの活用等、工夫ある情報発信を行う。

今後の進め方(案)
○密接な関連性がある両WGは次回も合同開催。 ○アクションにつなげていくため、優先順位の立て方が重要。

ワーキンググループ名	住まいWG		
コーディネーター	朝倉真一		
メンバー (平成28年6月末現在)	吉岡和潔	不動産鑑定士協会	次回以降参加依頼 予定メンバー ・検討中
	香水義三	洛西ニュータウン創生推進連絡会	
	森川宏剛	NPO 京都景観フォーラム	
	関 真司	UR都市機構西日本支社京奈エリア 経営部団地マネージャー	
	西澤 亨	京都市住宅供給公社	
	山根新吾	京都市住宅供給公社	
	堀 雅清	京都府住宅課	
	岡田圭司	京都市住宅政策課	
	松村 亙	京都市住宅政策課	
	矢田部衛	京都市まち再生・創造推進室	
	平井淳史	洛西支所地域力推進室	
	安枝英俊	兵庫県立大学環境人間学部	
開催経過	第1回 平成28年6月24日(水) 10:00~12:00		

課題認識	活用できる資源等
○空き家の発生は現状少ないが、今後増加することが想定される。管理不全の問題がある。 ○公的賃貸住宅について、間取り改善やリノベーション促進の視点が必要。 ○中古住宅の流通を促進する仕組みが必要。ボトルネックを把握して重点的に取り組む視点が必要。 ○洛西ニュータウンの景観・住環境の維持が必要。 ○住みやすいまちであることの情報発信が必要。(特にニュータウン外の子育て層へ)	・地域連携空き家事業、空き家活用モデルプロジェクト、地域の空き家相談員等の取組。 ・若い人の流入を受けることのできる空き家ストック。 ・中古住宅流通の際のインスペクション(住宅評価)制度の普及が社会的に進められている。 ・優れた住環境、景観。 ・公的賃貸住宅の活用可能性。 ・現在検討されているポータルサイト。



議論のポイント(取り組みの方向性・内容)
○中古住宅の流通促進。そのために必要な仕組みや公的賃貸との連携。 ○空き家活用に向けた行政施策の推進。 ○高齢者の住み替え支援と若年層の転入促進。 ○良好な住環境や景観の保全。

具体的なアイデア・人材・資源など
○ライフステージに応じて、洛西ニュータウン内での住み替えができる転居サイクルの確立。 ○住み替え促進のための子育て層の転入促進につながるリノベーション、高齢者の住み替え促進につながる賃貸住宅の優先入居の仕組み。JTI(一般社団法人)移住・住みかえ支援機構)の住み替え支援制度との連携。 ○住宅評価(インスペクション)等の推進とそれと連動した金融商品の開発など、中古住宅流通の仕組みづくり。 ○良好な景観や住環境の維持等、まちの価値を維持するためのルールづくりの視点やまちの魅力を言語化し共有するツールづくり。 ○高齢期まで安心して住み続けることができるまちをPR。

今後の進め方(案)
○住み替え(転居)サイクル構築につながる具体的な仕組みの検討。 ○「住みやすいまち」をPRする情報発信の検討。(大阪南港ポータウンの情報発信事例紹介)

残り2つのWGについては、現在、第1回目の会議開催に向けて、以下のような状況である。

○タウンセンター・サブセンター施設検討WG（商業、施設運用）

- ・サブセンターの店舗の状況、会館の利用状況、利用者の意向などを把握して、活用可能性等について議論をしていく予定。
- ・タウンセンターについては、小畑川との連携、外部空間における夜のにぎわいづくりなどについて議論していく予定。
- ・上記の議論を進めるための情報整理を進めた上で、8月中に第1回のWGを開催する。

参加依頼予定メンバー

住宅供給公社、各サブセンター商店会、各自治連合会、ラクセーヌ商店会、洛西タカシマヤ、らくさいライフスタイル、洛西福祉ネットワーク、らくさいマルシェ実行委員会、ホテル京都エミナース など

○ソーシャル・ワーキングWG（しごと）

- ・子育て支援WGで実施が想定される事業の実現に向けた担い手の確保などを、子育て支援WGと合同で取り組むことを想定している。
- ・子育てWGと合同での取り組みを進めつつ、その他のWGにおいて「仕事づくり」「事業起こし」等に関する議論が出てきた場合に連携していく予定。
- ・キッズプラザによっきっき！の託児サービス定期連絡会（2ヶ月に1回）②らくさいカレー部（仮）会議（月1回） の場も借りて議論を進める予定。
- ・また、子どもWGと連携して、市内の先進地からゲストを招いた子ども食堂勉強会の開催を検討中。